

名古屋SJCD主催 第28回オープン例会

「再生療法と共に考える 歯科医療のあり方について」

今年度の最終例会は長谷川嘉昭先生をお迎えしてのオープン例会です。長谷川先生は言わずと知れた歯周病のスペシャリストです。長谷川先生の手にかかればどんな重篤な歯周病でも治癒してしまうのではないかと考えるほど素晴らしい技術と知識の持ち主です。それに加えて医療訴訟にも詳しい先生です。今回は長谷川先生に技術、知識だけでなく、本来あるべき歯科治療についても熱く語っていただきます。ご期待ください。

名古屋SJCD会長 田ヶ原 昭弘



開催日時 **2017. 2.26 (日) 9:30 開場・受付**

10:00~12:30 会員発表

13:30~17:00 基調講演 「再生療法と共に考える歯科医療のあり方について」
長谷川 嘉昭 先生



講師

長谷川 嘉昭 先生

Yoshiaki Hasegawa

東京都中央区開業

講師略歴

- 1988年 日本大学歯学部卒業
- 1993年 東京都葛飾区にて開業
- 1998年 日本歯周病学会専門医
- 2007年 日本臨床歯周病学会指導医
- 2008年 東京都中央区にて移転開業
- 2009年 日本歯周病学会評議員
- 2014年 日本臨床歯周病学会
インプラント指導医
東京医科歯科大学非常勤講師

再生療法と共に考える 歯科医療のあり方について

再生療法の進化と共に併用する骨移植材等のマテリアルは、多様化し臨床現場では未承認材料で満ち溢れている。これはインプラント臨床でも同様であり、結果優先主義の影響が色濃く映るが、果たしてこのままで良いのだろうか。

臨床現場では、「説明と同意」いわゆるインフォームドコンセントが重要との認識があるものの、本来は治療の選択肢を複数提示し、患者に「意思決定」をさせるインフォームドディシジョンが、より大切であることはあまり知られていない。

また近年、医療訴訟(医事紛争)が増加する背景には、我々歯科医師の善管注意義務の欠落と患者の権利意識の変化が後押ししていると思っている。

そこで、'90年代から着手してきた再生療法の臨床評価から、併用する骨移植材の特徴と問題点を精査し、このインフォームドディシジョンの観点から、今後の歯科医療のあり方を考え直してみたい。更に、欠損補綴の第一選択となったインプラント治療の自らの失敗症例を供覧し、何が大切なのか?を本音で語りたい。

参加費 会員無料

会員外 DR 5,000円 / DT 3,000円 / DH 2,000円
(お弁当が付いてきますので事前登録をお願いします。)

会場 栄ガスビル 5階ガスホール

名古屋市中区栄三丁目15番地33 TEL052-243-0881



お申し込みについて

貴院名、お名前、ご職業(DR, DT, DH)、住所、TEL を記載して、事務局までメールにて申し込みされた上、参加費を下記の口座にお振り込み願います。ご入金の確認をもって正式な登録とさせていただきます。また振込の控えをもって領収書に代えさせていただきます。

振込先 三菱東京UFJ銀行 普通預金
店番 266 (八事支店)
口座番号 0084518
名古屋SJCD 理事 吉木 雄一郎

申し込み期限 2017年2月16日(木)

お問い合わせ先

名古屋SJCD事務局 株式会社ユニットアルファ
〒454-0021名古屋市中川区横堀町三丁目36番地
dental-masters@chorus.ocn.ne.jp
TEL. 052-602-8935 FAX. 052-602-8936